

2023年（令和5年）度自己評価・学校関係者評価（報告）

学校法人練馬みどり学園 田柄幼稚園

理事長 吉田 健一

園長 古閑 博美

田柄幼稚園は毎年職員他関係者に自己評価アンケートを実施しております。集計結果は、職員研修の一環として園長が講評し、次年度に向けて改善等の取り組みを共有しています。

研修を踏まえて自己評価・学校関係者評価委員会を開催し、本園の現状について説明するとともに意見交換の場としています。

このことについて、以下のとおり、申し上げます。敬称略。

1. 日 時 2024年3月14日 16:00～17:30

2. 会 場 田柄幼稚園キリン組教室

3. 出 欠 席

(1) 外部委員（氏名・五十音順）

練馬区立田柄小学校校長 伊藤 雄一（いとう・ゆういち）欠席

田柄幼稚園教育支援委員・非常勤講師／広島大学大学院准教授

奥村 安寿子（おくむら・やすこ） on-line 出席

本園おひさまの会会長 林 礼奈（はやし・れいな）

立教大学法学部特任教授 薬師丸 正二郎（やくしまる・しょうじろう）

(2) 本園委員

理事長 吉田 健一（よしだ・けんいち）欠席

園長 古閑 博美（こが・ひろみ）

事務長 吉田 夏子（よしだ・なつこ）

(3) 事務局

教務担当 平石 加代子（ひらいし・かよこ）

学務担当 阿部 由美子（あべ・ゆみこ）

4. 内 容

※議事進行 古閑 博美

(1) 開会挨拶 古閑 博美

(2) 報 告 古閑 博美

「令和5年（2023年）度自己評価アンケート —結果と考察—」

※職員研修（2024年3月13日、14:00～15:30）を踏まえて報告

○質問事項については概ね及第点となった。評価は「A:大変よい B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する」で、及第点はA+Bが60%以上とした。一部を除いて80%以上の評価であった。

○60%に届かなかったのは質問のうち6件あった。それらは、①組織内のコミュニケーション不足、②職員の配置(委員会や担当を含む)への不満、③年間行事と園児の発達との兼ね合い、④外部研修への参加が不活発(学事日程に組み込まれた研究会や研修会、練馬区私立幼稚園教育研修会「班別研修」以外)、⑤特別研究費(年間10,000円)の活用率が低い、⑥他の組織や団体との情報交換の機会および異業種異文化交流に関するものである。コメントの意見を含む。

外部研修の案内は常に回覧しているが、参加が特定の職員に偏りがちな点は改善していきたい。希望する研修に極力参加できるように支援するほか、職員の研究意識の向上は課題である。

○組織運営に「委員会」活動を導入し丸6年が経過したが、委員会やそこでの活動の仕方により丁寧な説明が必要なことがわかった。職員研修等を含めて意識改革を進めているところである。職場の担当業務は多岐にわたるため、それぞれより丁寧に職務内容を伝えていきたい。園長は毎年職務・役務について見直し、職務内容の明確化を図り文言に提示している。今後も職員の意見に耳を傾け、明確化を図る。職場内の人間関係は課題である。職員のストレスとなる要因を精査し、改善に取り組む。

(3) 意見交換(発言順) 16:00~17:30

1.おひさまの会会長 林 礼奈

○おひさまの会について、入園前に新入園児保護者に向けて、園からもお知らせがあるとよい。→見学や入園面接のさい、必ずお伝えしています。

○どういう場であれ、先生方が意見を言える場があることはよい。→風通しのよい職場を目指して取り組んでいます。第1学期にカウンセラーによる職員へのカウンセリングを実施(必須)しているほか、園長の面談は年間を通して適宜実施するなか、第2学期は必須としています。園長は園内での出来事をさまざまな観点から把握し、とくに傾聴を重視し、改善等の指示やメンターを強化するなどに取り組んでいます。

2.立教大学特任教授 薬師丸 正二郎

○園庭に関する先生方の不安とは、具体的にはどのようなことか。→主として、自然素材の遊具を設置した園庭(「ASOBIO」を導入)として整備しています。今後、植栽を含め、園庭は経年で変化していきます。最初、教師等は園児たちへの遊びや遊び方の指導等に不安がありました。施工先の株式会社スマートエデュケーションによるレクチャーや、職員が発見した問題点の解決を図る合同の職員研修を10回実施するなか、ASOBIOへの理解を深めていき、園児が主体の創造的遊びが活発にみられるようになってきました。今後とも、園児の遊び方や環境整備について観察してまいります。園児自身が遊びの創造者となり、「どろんこだっっていいじゃない」とするものです。自然環境やSDGs、地球沸騰化に配慮し、これからの園庭のあり方としてASOBIOを採用しました。田柄幼稚園のASOBIOとして独自に進化していく予定です。

○避難訓練で昨年と違う訓練とはどのようなことを実施していますか。→「なかよし門」や公道を使って愛宕神社への避難を実施し、新園庭での避難訓練を実施しまし

た。マニュアルは毎年見直し、地震(「震度5」想定など)、不審者、火事、ミサイルなどを網羅した内容となっています。

- 情報(USB)管理について、USBの持ち帰り等はどのようになっていますか。→本園は園内の情報管理を徹底しています。職員がみだりにまた許可なく個人情報やUSBの持ち出しをすることは禁止しています。違反者には始末書提出ほか内容によっては就業規則に則り、処遇を判断します。このことは全職員に通知し、注意喚起しています。特別に持ち出しが必要なさいは、園長の許可を得ることになっています。報告義務有。

3.田柄小学校校長 伊藤 雄一 ※ご意見紹介

(メール本文)

今年度、園の改築工事等大変な中、盛大な運動会を開催されたこと、ザリガニ釣り等の交流、本校1年生との交流が実施できたことが本当に良かったと感じています。特に運動会において、園の先生方や職員の方のチームワークの良さや長い園の歴史を大切にしながら園児とともに行事に取り組まれている姿を拝見し、充実した教育活動が行われていることを感じる事ができました。

委員会に参加することがかなわないため、メールにてお伝えさせていただきます。

→園長は田柄小学校の評議員を務めており、日ごろから校長はじめ副校長とも意見交換しています。幼小接続の観点から、5歳児学年の担任と小学校の先生方との交流を実施しています。

日ごろ、学事日程の観点から教務主任が頻りに連絡をとり、運動会や避難訓練でお世話になっております。また、預かり保育(にこにこ教室)の企画で園児等が小学校を訪問、児童達とも交流する機会が年に数回あります。小学校への憧れや場所に慣れる効果が期待できます。

4.教育支援委員 奥村 安寿子 ※on-line 参加

- 田柄幼稚園の先生方は、園児の発達に即して、教育のプロとしてよく観察のうえ、接している。→奥村委員は、園児の観察をもとに行うカンファレンスでも助言や指導をいただいています。特別教室(しるでき®)でも外部講師として園児たちの指導や観察を行い、教員にフィードバックしてもらっています。

(4) 閉会挨拶 古閑 博美

5.まとめ

委員会では、園長が詳細な内容説明を行い、それを踏まえて意見交換を行いました。

委員の皆さまには貴重なご指摘やご意見を賜りました。深謝申し上げます。

アンケート結果とご意見等を踏まえて、改善や良事徹底に努めてまいります。

文責 古閑 博美、平石 加代子